

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	04-01-02-05
事務事業名	林業関連負担金事務		
	昭和46年度以前	根拠法令・要綱等	
事業開始年度	昭和46年度以前		
大項目 基本目標	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	担当課(室)	農林水産課
中項目 基本施策	豊かな食を支えるまちづくり	職・氏名	管理係長・大道健一
小項目 施策	林業	電話	64-1831

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	森林所有者、森林利用者及び林道利用者
目的(何のために)	補助金及び負担金を支出することにより林業の振興を図る。
行政活動(どのような方法で)	事業の内容を審査し負担等を実施。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	各種林業推進団体の育成並びに、林業事業の適正な推進が図れる。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
負担件数	件	8	7	7
補助金件数	件	3	3	2
交付金件数	件	3	2	3
出資金件数	件	1	1	1
繰出金	件		1	
活動実績				
事業費	千円	14,014	13,960	9,363
直接事業費				
人件費		1,220	1,235	671
事業費計		15,234	15,195	10,034
財源	千円	7341	7404	3988
国県支出金				
受益者負担				
市一般財源		7,893	7,791	6,046
必要人員	人	0.15	0.15	0.08
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
負担金件数	説明	各種団体への負担金		
結果指標量	件	8	7	7
対前年比	%	-	87.5%	100.0%
活動コスト	円	1,088,433	998,500	938,500
単位当たりコスト	円	136,054	142,642	134,071
結果指標	説明	森林整備地域活動支援交付金		
交付金件数	件	3	3	3
結果指標量	件			
対前年比	%	-	100.0%	100.0%
活動コスト	円	9,786,233	9,704,800	5,172,650
単位当たりコスト	円	3,262,078	4,852,400	1,724,216

事業の成果			
成果指標名	森林整備地域活動支援	式又は説明	支援数 / 要望数
17年度		18年度	
成果指標量	3.00	3.00	3
対前年比	100.00%	100.00%	100.00%
到達目標値	3	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である	妥当性評価<A-E>
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	C
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		負担金については、過去から支出しているものがあるので妥当性を検討していく。
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		効率性評価<A-E>
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		C
手	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		課題認識
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		負担金については、内容を見直し、削減できるものは総会等で会費の減額を要求する。
職	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		有効性評価<A-E>
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上の見込みである		C
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		課題認識
<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している			負担金の内容を検討し、必要性の低いものは、順次見直しを行っていく。
<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している			
<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している			
<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている			

平成20年度の状況		説明	真に必要な事業負担のみを行うように努めて実施する。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	7	結果指標量	3
成果指標量	100.00		

総合評価		評価区分<A-E>	C
本事業は他市町と構成している会が多いため、負担金の額を変えることは出来ないが、関与が薄ものは退会するなどとともに、会計報告を確認しながら改善点があれば要求していく。			

平成21年度以降の方向性		説明	平成20年度で廃止・完了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する		
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する		
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する		

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	負担金の趣旨を検討し、取捨選択する。	通年	経費の節減が図れる。